診断名としてのアレルギー

MEMO





図 8.4 紅色皮膚描記症 (dermographism) 人工的にこするなどの機械的刺激を与えた部に膨疹 (蕁麻疹)を生じる.

きない、いわゆる"蕁麻疹"をさす、症状の継続期間によって 区別し、6週間未満で終息するものを急性蕁麻疹とし、6週間 以上にわたるものを慢性蕁麻疹という(日本のガイドラインで は4週間で区別する). 急性蕁麻疹においては、詳細な問診を とると感冒や上気道感染の既往が判明することが多く、発症契 機の一つとして重要である。多くの急性蕁麻疹は数日から数週 で終息するが、一部は慢性蕁麻疹に移行する、慢性蕁麻疹の多 くは原因不明であり〔慢性特発性蕁麻疹(chronic spontaneous urticaria; CSU)]. 10年以上遷延することも珍しくない.

2) 接触蕁麻疹 contact urticaria

皮膚あるいは粘膜に物質が接触して数分~数十分後に蕁麻疹 を生じるもの. アレルギー性接触蕁麻疹と非アレルギー性接触 蕁麻疹とに分類される. 前者の代表としてラテックスアレルギ ーが、後者は昆虫アレルギーなどがあげられる (MEMO 参照).

3)物理性蕁麻疹 physical urticaria

物理的刺激(擦過、寒冷、日光、温熱など)によって生じる 蕁麻疹をいう. おのおのの特徴を表8.1 に示す. 機械性蕁麻疹 (人工蕁麻疹)では紅色皮膚描記症(図8.4)が特徴.